

2023年1月15日発行

K



神奈川県理学療法士会

(公社)神奈川県理学療法士会ニュース

The Kanagawa  
Physical Therapy Association  
News

P

1  
2023  
January  
No.294

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 内田 賢一 ○編集 | 武田 正一

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[2022.12.1現在] 5,998名

## Contents

P1▶巻頭言 P3▶活動報告／ライフサポート部報告79報 P4▶感染症に対応した避難所の運営について  
P6▶研修会・講習会 P10▶会長行動報告 P11▶information P12▶原稿送付先／編集後記

## 巻頭言



## 「竹山団地プロジェクト」を通じた多彩なキャリア教育の実践について

神奈川大学スポーツセンタースポーツ戦略室 大森 西三郎



神奈川大学体育会サッカー部は、地域連携による中正堅実な人材の育成を目的・目標とし、「F+1」（エフプラスワン）の理念のもと、F（フットボール）にとどまらず、新たな要素を加えて全力で取り組むことで、サッカー選手としてはもちろんのこと、ひとりの人間として大きく成長していくことを目指しています。

その一環として取り組んでいる「竹山団地プロジェクト」は、2020年3月に締結された「神奈川大学と神奈川県住宅供給公社との連携・協定に関する協定書」に基づき推進する、持続可能な開発目標「SDGs」達成を目指した、学生の育成・成長と地域課題の解決に向けた活動です。2020年度から、神奈川大学体育会サッカー部の学生が神奈川県住宅供給公社の所有する竹山団地（横浜市・緑区）

の賃貸居室280戸の一部にサッカー部寮として入居し、学生が共同生活（1戸3名入居）をしながら、竹山団地の竹山連合自治会と共同して様々な取り組みを行っています。現在は1年生から3年生の44名の学生が、高齢者が住むのに不向きな4階や5階の居室に入居して地域活動に携わっており、来年2023年4月には、1年生から4年生までの約60名の学生が入居する予定となっています。

竹山団地に入居するサッカー部の学生は、団地の住民として団地内の活動に参加するとともに、自治会と連携して、少子・高齢化が進む竹山団地の課題に対応する「高齢者を対象としたスマホ教室の支援」「団地周辺の環境整備（清掃、池のかいぼり他）」「竹山団地防災訓練への参加」「竹山文化祭や花火大会の運営・実施への協力」「小学校児童の学習支援」などを行っています。さらに、団地住民の健康増進に向けた施設の開設計画が進行中です。

「竹山団地プロジェクト」は、若者が社会に貢献し、社会が若者を育てていく共生社会の実現を目指すものであ



農業活動



スマホセンター

## 巻頭言



り、持続可能な開発目標「SDGs」につながる取り組みです。具体的に取り組んでいる課題は、今後、全国的に広がるのが確実である少子高齢化の課題であり、この課題の克服こそがこれからの新しい時代創りにつながるものと考えています。少子高齢化の進展や気候変動への取り組みなど、これからの多くの課題解決に取り組むためには、一方からの視点で解決にあたるのではなく、多様な視点から問題点を明らかにして課題解決にあたることのできる人材が必要となります。「竹山団地プロジェクト」

のような活動を通じて、社会的弱者と個人の多様性を大切にす健全な共同体メカニズムの発展に寄与するリーダーを育成したいと考えています。これらのリーダーがそれぞれの組織で影響力を発揮することができるようにすることで、新しい社会の実現につながると信じ、神奈川県大学体育会サッカー部では、サッカーの競技力向上と同時にソーシャルインパクトの向上を目指す「ウェルビーイング・フットボール」を標榜した活動を力強く推進していきます。



学生消防団入団式



地域清掃



## 有限会社 木村義肢工作研究所

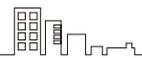
みなさまのご要望に真摯に向き合い

生活を手助けするものづくりを提供して参ります

〒247-0006 横浜市栄区笠岡三丁目 40 番 5 号  
TEL045-892-5424 FAX045-894-2560 [www.kimura-gishl.co.jp](http://www.kimura-gishl.co.jp)



## 活動報告



研修会報告

## 働き続けるためにコミュニケーションを見直そう！

ライフサポート部 寺尾 詩子

ライフサポート部  
活動報告  
職場環境を考える

第79報

コミュニケーションスキルは、職場環境をよりよくしていくために必須のスキルであるという認識のもと始めた研修会も、5年目になりました。今回も公認心理師の中村有先生にお願いし、内容は「参加者から事前にいただいた質問に、心理の立場から答えてもらう」というものでした。参加者は22名で男女半々、年代は20～50歳台で、40歳以上、経験年数10年以上の方が7割以上でした。事前の質問は、「新人さんに自信をつけてもらえるような声かけは？」「上司からの指示と若い人からの不満に挟まれ困っている」「自分より経験豊かなPTを管理する立場になって困っている」「威圧的な同僚・上司、医師、患者の対応に困っている」などでした。参加者からは「具体的な質問に回答いただき、実践につなげていけそうな内容だった」「明日からの業務が怖くなくなりました」「スタッフ間に限らず、患者様への対応方法も盛り込まれており、総合的にコミュニケーションを見直す機会となった」とのコメントをいただきました。

## \*\*\*\*\* 参加しての感想 \*\*\*\*\*

私もPTになって28年が経ちました。自分なりの経験は積みましたが、それ以外の事は分からなくて不安です。それでもベテランと言われるし、管理職にもなりました。多様性の尊重やハラスメントなど、人権に対する考えも社会の成熟とともに、これまで「よし」としてきたことも明らかに変化しています。大事なことだと頭では分かりながらも、気持ちも行動もなかなか追いつかないのが現実です。その上コロナの流行によって、人との関わり、生活様式自体も大変革で、医療制度も社会制度も毎年代わり、体力も思考力も落ちてるとなると弱気になりがちです。中村先生の講義を聴くと「安心していいんですよ」と何度も語りかけてもらった感じがしました。改めて意識してみることも具体的になりました。お復習いがてら研修内容からごく一部を書き出してみました。

## ■考え方を前向きにするために・・・

別にネガティブな考えも悪いことではないですが、考えを前向きにしていくコツがあります。

◇体力をつける（ポジティブでいるには元気であることが大事）

◇考え方をポジティブに変更する

◇楽観的にとらえる

◇自己肯定感・集中力を高める（体力がないと低下します）  
「何が問題か？」→「何ができるか？」  
「この原稿、何が言いたいか分からん」  
→「何かは伝わるだろう」  
「分からないことが多くてつらいな」  
→「わかったことからやってみよう」  
「失敗した」→「ここまではできた」

## ■威圧的な人への対応

「態度が威圧的な人は、威圧的でいたい（偉い人でいたい、周囲は下がっていて欲しい）人だったりします。偉い人でいてもらって安心してもらいましょう。対人距離のとり方からその人の性格特性をみると、権威主義だが自信のない人ほど、威圧的で対人距離をとる傾向にある」とのこと。「自信のなさ」の裏返しなのかも、あんまり近づかなくてもいいのだ、と思うと怖さも薄まる感じがしました。

しっかり睡眠とって明日もがんばります！



Twitterのフォローお願いします！！

ライフサポート部の活動は、普段このような情報にアクセスしていない離職中の方にも参加してもらいたいと思って企画しています。そこで、「Twitter」を利用して、週2回この活動にまつわる内容をつぶやいて、つながっていくことを目指しています。フォロワーが増えればその分、目に留まる可能性も高まります。下記のQRコードからアカウントにつながりますのでフォロワーになってもらえませんか。よろしくお願いします！



Twitterアカウント

# 活動報告

## 感染症に対応した避難所の運営について

事務局 災害対策部 下田 栄次

### スペースの確保と換気の実施

- ①段ボールベッド等の簡易ベッドとパーテーションを用いたゾーニングを行うことで、感染防止を図る。家族間の距離 1m以上、ベッド間 2m 以上、ベッドの高さ 35 ~ 37cm以上の確保を目安とする。トイレや手洗い場など集合スペースへの動線を明確にし、避難者同士のすれ違いを避ける。
- ②発熱者や災害時要配慮者用の専用スペースを別の隔離された場所に設置、可能な限り個室とし、専用のトイレを確保することが望ましい。食事や物品の受け渡しも、スタッフとの直接接触を避ける。避難所の食事場所では互いに向き合わないように椅子を配置し、対面しないレイアウトにする。また避難所内2方向の窓やドアを開けて空気の流れを作り、30分に1回以上の換気を行う。

### 避難所の衛生環境の確保

- ①手指衛生や咳エチケットなど、基本的な標準予防策（スタンダードプリコーション）を徹底し、出入口や集合スペース、食事スペースに手指衛生用のアルコールを設置する。
- ②避難所運営スタッフの担当をブロックで分け、担当外の接触は避け、避難者との連絡も電話やSNSを活用し、事務所への往来も極力減らすような工夫を行う。

### 感染症が疑われる避難者の対応

- ①感染症が疑われる避難者は、サージカルマスクを着用し、一般避難者とはゾーン、動線を分ける。専用のスペースを個室にするとともに、専用のトイレを確保する。同じ徴候・症状のある人々をやむを得ず同室にする場合は、パーテーションで区切る等の工夫をする。



感染症予防対策 避難所のレイアウト (例)  
【内閣府資料より引用、一部改変】



②感染が疑われる避難者の対応や、環境消毒を行う避難所運営スタッフはPPE（个人防护具）を着用する（事前にPPE着脱訓練を行うこと）。感染が疑われる避難者が使用した食器やリネン、ゴミや医療廃棄物は、プラスチック袋に入れて口を閉じた形で回収し、他の廃棄物と判別できるように印をつける。

### 感染症を発症した場合の対応

- ①感染症を発症した避難者の対応について、軽症であっても原則、一般の避難所に滞在することは適当ではないことに留意する。
- ②重症もしくは高齢者・基礎疾患を有する避難者は、原則、医療機関への入院となる。
- ③医療機関の病床不足のため、軽症者が一時的に避難所に滞在する場合は、敷地内の別の建物とする。同一建物の場合は、動線を分け、専用スペース、専用トイレを確保する。

### 避難所での感染拡大を防ぐために

- ①支援者支援の観点から、避難所運営スタッフの健康管理が最も重要である。標準予防策と手指衛生の徹底、休憩時間の過ごし方（スタッフの休憩スペースも必ず設置すること）に留意する。

【公益社団法人日本医師会監修 新型コロナウイルス感染症時代の避難所マニュアルから引用、一部改変】

下記のURLからダウンロードできます。

<日本医師会HP>

[https://www.med.or.jp/doctor/sien/s\\_sien/002049.html](https://www.med.or.jp/doctor/sien/s_sien/002049.html)

<日本理学療法士協会HP>

[https://www.japanpt.or.jp/info/20221031\\_888.html](https://www.japanpt.or.jp/info/20221031_888.html)

株式会社エヌ・エフ・エーは  
保険を通じて暮らしやビジネスを  
サポートします



**NFA**

株式会社 エヌ・エフ・エー

保険のトータルプランナー

〒110-0015  
東京都台東区東上野1丁目6-2 荒井ビル2階  
TEL.03-5818-0711 (代表) FAX.03-5818-0710  
<https://www.nfa-ins.co.jp>



義肢・装具 整形靴・特殊靴

MAKERS OF PERFORMANCE PROSTHESIS & ORTHOSIS

**SP-I 湘南義肢研究所**

気分の上がる最適な  
装具をお届けいたします。



Facebook 始めました。最新情報載せてます！

日本義肢協会会員登録番号関東108(有)湘南義肢研究所 〒238-0004 神奈川県横須賀市小川町 27  
TEL046-822-6722 FAX046-822-6425 <https://www.sp-i.net>

## 研修会・講習会

# 新生涯学習制度における 士会承認症例検討会開催のお願いと申請方法

新人教育部 藤田 峰子

新制度が始まり、2か月程度で1年になろうとしています。皆様におかれましては、制度の理解やコマの取得などご不明な点があるかと思いますが、コマの取得をお願いします。

繰り返しのご連絡になりますが、今回も新生涯学習制度のうち、症例検討会についてお伝えしたいと思います。前期研修のD-2を履修中の会員と後期研修の会員の方は、症例検討会での発表や聴講を必ず行わないと、研修が修了しません。早めに取り組んでください。

本会が開催する士会主催症例検討会は、年に3回（各領域1回）を実施・計画しています。後期研修E（領域別研修（事例））を士会主催症例検討会で終了するには、最短で2年となります。都合がつかず、参加できないことも予想されますので、士会承認症例検討会の開催を積極的にお願いしたいと考えています（表1）。

士会承認症例検討会の申請は、登録理学療法士の会員のみ可能です。後期研修中のスタッフが申請することができません。そのため、研修者がコマの取得をしたいと思っても症例検討会の開催をお願いしにくい可能性があります。あなたの所属施設に後期研修中の方がいるかもしれませんので、一度お確かめいただき、研修が早めに終了するようにご対応いただけますとありがたいです。

症例検討会申請方法は、登録理学療法士のマイページから行います。

本会のホームページ > 講習会・研修会・イベント情報 > 本会主催イベント > 新生涯学習制度 > 士会承認症例検討会に申請方法が掲載されています。

右記のQRコードからも確認ができます。

	士会承認	士会主催
申請者	登録理学療法士	神奈川県理学療法士会
申請方法	マイページ	
開催頻度	いつでも何度でも	年3回 (今年度は1月29日のみ)
申請期日	開催2週間前	—
聴講者・発表者の事前登録	不要	必要 (マイページより5日前まで)
履修登録	QRコードの読み取り	

表1 士会承認症例検討会と士会主催症例検討会の申請等の比較



士会承認症例検討会  
申請手続き方法



PT・OT・STのための  
総合オンラインセミナー

**リハノメ**

法人様向け  
プランのご用意も  
しております

資料請求  
好評受付中

**1ヶ月見放題プラン**

通常料金 3,080円が初回限定で…

**980円**

※表記価格は税込み料金です。

**豪華講師陣がご登壇！**

理学療法士 / さとう整形外科  
赤羽根 良和 先生

理学療法士 / 国際医療福祉大学大学院  
医療福祉学研究所  
福祉支援工学分野 教授  
石井 慎一郎 先生

リハビリテーションを  
『かたち』にする会社

**gene**

お問い合わせ  
はこちら

✉ seminar@gene-llc.jp  
Tel.052-325-6611

リハノメ 検索



## 第3回士会主催症例検討会（運動器障害系）の開催について

今年度最後の士会主催症例検討会を下記の通り開催します。

- ✓ 開催日：2023年1月29日（日）10時～11時40分
  - ✓ 場 所：Web研修会（ZoomでのWeb会議システム）
  - ✓ セミナーID：105754
  - ✓ 対 象：PT協会の会員カードが発行されている神奈川県理学療法士会会員で、後期研修中の会員または、前期研修の会員で、D-2を履修中の会員  
(D-2の会員は、本会での症例検討会を聴講する前に、前期研修「B-5（症例報告・発表の仕方）」の履修が必要です。)
  - ✓ 条 件：3症例（①～③）を全聴講可能であること  
他県士会の方で聴講希望の場合は、問い合わせ先にお問い合わせください。
  - ✓ 定 員：40名
  - ✓ 参加費：神奈川県理学療法士会員 無料
  - ✓ 申し込み締め切り：1月24日（火）
  - ✓ 当日スケジュール
- 9：30～入室可能（9時55分には入室を完了してください）
- 10：00～10：30 運動器障害系症例検討E-2-①
- 10：35～11：05 運動器障害系症例検討E-2-②
- 11：10～11：40 運動器障害系症例検討E-2-③
- ✓ 開始5分以上遅れた場合は、コマを付与することはできません。
  - ✓ 詳細は、本会のホームページ > 講習会・研修会・イベント情報 > 本会主催イベント > 新生涯学習制度 > 第3回症例検討会に掲載されています。



第3回士会主催症例検討会  
申請手続き方法

## 履修コマ数確認のお願い

新生涯学習制度の更新は、年度末に1回の自動更新となります。自動となり便利になりますが、年に1回しかチャンスがありません。参加した研修等の取得コマがマイページで反映されているか確認を早めをお願いします。以前の新人教育プログラムと違い、比較的早いタイミングにマイページで反映されるようになっていきます（以前は、2か月程度時間がかかっていたことがあります）。そのため、受講ないし、聴講した後は早めに更新内容を確認してください。年度末ギリギリに問い合わせがあっても事務的な作業が間に合わない場合は、今年度の更新ができなくなります。

### お問い合わせ先

(公社)神奈川県理学療法士会 新人教育部  
mail：shougai@japanpt.or.jp



# 研修会・講習会

## ●県士会主催

### 2022年度（公社）神奈川県理学療法士会生涯学習部講習会のお知らせ

1回目の講習会は、Zoomシステムを用いたインターネットによる生配信となります。

2回目の講習会は、同じ内容を録画配信し、質問はメールにてお受けいたします。

御確認の上、日本理学療法士協会「マイページ」から登録をお願いします。

詳細（履修ポイント、申込受付期間 等）は日本理学療法士協会マイページ等を御確認ください。

#### 【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「運動器疾患の理学療法」講習会】

**テーマ：**今さら聞けない、運動器理学療法の基礎から実践  
**内容：**運動器疾患に対する理学療法では、局所の関節運動と全身の身体運動を相互に考え、痛みや動きの問題点を解決することが求められる。個性はあるものの、運動機能障害を捉えるポイントを抑えると系統的に捉えることもできる。本セミナーでは、基礎的な運動学・運動力学的な知識から、実践的な身体所見(エコー所見を含む)の統合解釈について症例を通して解説する。

**講師：**河端 将司 氏(北里大学医療衛生学部)  
 宮田 徹 氏(相模原協同病院)  
**日時：**1回目 2022年11月5日(土) 10:00~13:00  
 (終了しました)  
 2回目 2023年1月20日(金) 12:00~1月23日(月)  
 12:00  
 質問受付×切 2023年1月30日(月)

#### 【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「急性期の理学療法」講習会】

**テーマ：**超急性期理学療法におけるリスク管理と実践  
**内容：**集中治療領域で理学療法士が対応する循環器疾患(心不全、心筋梗塞、心大血管疾患術後)、呼吸器疾患(急性呼吸不全、肺炎、ARDS)、敗血症等の代表的疾患における介入時のリスク管理および、理学療法の実践について解説を行う。また、重症新型コロナウイルス感染症に対する理学療法と長期身体機能予後についても自験例を提示し経験の共有を行いたい。

**講師：**佐伯 拓也 氏(公立大学法人横浜市立大学附属病院)  
**日時：**1回目 2022年12月10日(土) 10:00~13:00  
 (終了しました)  
 2回目 2023年1月27日(金) 12:00~1月30日(月)  
 12:00  
 質問受付×切 2023年2月6日(月)

#### 【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「中枢神経疾患」講習会】

**テーマ：**脳卒中片麻痺者の起立動作のバイオメカニクス  
 ー麻痺の程度別に見た動作パターンおよび介入ポイントー  
**内容：**脳卒中片麻痺者の起立動作のバイオメカニクスについて先行文献および三次元動作解析装置による計測結果から得られた運動学、運動力学、筋電図学的特徴について解説します。さらに麻痺の程度による起立動作の動作パターン分類を提案するとともに、RCT研究を中心とした文献レビューを含みながらパターン別の介入ポイントについて紹介する予定です。

**講師：**本島 直之 氏(昭和大学藤が丘リハビリテーション病院)  
**日時：**1回目 2022年12月11日(日) 10:00~13:00  
 (終了しました)  
 2回目 2023年2月10日(金) 12:00~2月13日(月)  
 12:00  
 質問受付×切 2023年2月20日(月)

#### 【神奈川県理学療法士会生涯学習部主催「骨関節障害」講習会】

**テーマ：**変形性関節症における臨床と研究  
 ー臨床でのエビデンスの活用と構築ー  
**内容：**近年、理学療法ではエビデンスに基づいた臨床が求められるようになってきました。研究に関する知識は、このエビデンスの理解に役立ちます。本講演では、研究の基礎知識に触れながら、変形性関節症をモデルにした臨床でのエビデンスの「使い方」、そして「作り方」についてお話をしたいと思います。

**講師：**田中 繁治 氏(神奈川県立保健福祉大学)  
**日時：**1回目 2022年12月18日(日) 10:00~13:00  
 (終了しました)  
 2回目 2023年2月17日(金) 12:00~2月20日(月)  
 12:00  
 質問受付×切 2023年2月27日(月)

### 注意事項

#### 【受講費に関して】

\*受講費：本会会員3,000円、他都道府県士会会員6,000円

\*受講費は事前に振り込みをするか、カードでの引き落としとなります。振り込みの場合は手数料を御負担ください。

\*入金確認ができましたら、受講登録が完了します。

\*納入期限の時点で入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。



- \*納入後のキャンセルにつきましては、受講費の返還はされませんので御了承ください。
- \*領収証が必要な方は、日本理学療法士協会のマイページよりダウンロードしてください。

### 【申し込みに関して】

- \*キャリアメール(携帯電話のメール)は登録しないでください。  
(連絡メールが届かないことや視聴できないことが多発しております。  
携帯メールで登録した場合に生じたエラーについては対応できませんのでくれぐれも御注意ください。)
- \*基本的に、日本理学療法士会のマイページに登録されたメールアドレスを使用させていただきます。
- \*セキュリティの設定により、連絡メールが迷惑メールフォルダに振り分けられている場合がございます。  
必ず御確認をお願いいたします。
- \*登録アドレスの不備により連絡メールが届かない場合の責任は負いかねます。

### 【視聴登録・視聴に関して】

- \*視聴の際には、必ず申込時と同一メールアドレスで登録してください。
- \*本講習会はログイン時にパスワードを設定し、申込者のみ受講いただけます。  
複数人での視聴は禁止いたします。  
万が一、申込者以外の視聴が確認された場合、主催者側で当該者の退室、あるいは視聴制限を行う可能性もございます。
- \*上記注意事項に違反している場合、視聴されてもポイント付与、受講費の返還はされませんので御注意ください。
- \*各個人のシステムトラブル等には対応しかねます。  
予め御自身が使用される機器のWeb環境を十分に御確認ください。(事前の動作確認を推奨いたします。)
- \*受講中の各個人のシステムトラブルによる通信障害はいかなる場合も受講費の返還およびポイント付与の対象とはなりません。
- \*受講中の録音、録画、撮影等は固く禁じます。  
発見した場合、今後の受講禁止等の罰則を与えます。

### 【ポイント付与に関して】

- \*ポイント付与等の一切は日本理学療法士協会の管理となっております。  
日本理学療法士協会の案内を御参照くださいますようお願いいたします。
- \*JPTA(日本理学療法士協会)のアプリを使用いたします。  
講習会開始までに必ずダウンロードをお願いいたします。
- \*講義の途中と終了時にQRコードを表示いたします。  
QRコードの読み取りをもって受講を承認いたしますので、JPTAのアプリを御準備の上、受講いただきますようお願いいたします。
- \*ログイン、ログアウトの時間で、聴講時間の管理をいたします。  
講義の2/3以上の時間の出席が確認できない場合、ポイントは付与されません。  
(録画配信で、早送り視聴される場合等くれぐれも御注意ください。視聴時間で管理いたします。)
- \*休憩時間中も接続したままにさせていただきますようお願いいたします。
- \*ポイント付与には一定の期間を要します。
- \*注意事項に抵触する場合、ポイントは付与されません。

### 【個人情報保護に関して】

- \*御提供いただきました個人情報は、講習会の御出席の確認、講習会に必要な連絡のみ使用いたします。  
個人情報は、主催関係者および業務委託先を除く第三者に開示・提供することはありません。  
個人情報は、本会の個人情報保護方針に基づき、安全かつ適切に管理いたします。

申込をもって、本注意事項を御確認の上、御同意いただいたものとみなします。

### お問合わせ先

(公社)神奈川県理学療法士会 生涯学習部

mail : shogaigakushu@pt-kanagawa.or.jp

お問合わせはメールでお願いします。

- \*上記注意事項に記載済事項に関してはお答えできませんので御了承ください。



# 事務局報告



月	日	内容	場所
9月	7日 (水)	関東甲信越ブロック協議会「働きやすい環境創り検討委員会」	Web会議
	8日 (木)	神奈川県災害派遣福祉チーム員情報伝達訓練	Web会議
	9日 (金)	東京都理学療法士連盟設立10周年記念式典	東京・学士会館
	10日 (土)	第41回 関東甲信越ブロック理学療法士学会開会式	東京・日本教育会館
		関東甲信越ブロック士会長会議	東京・日本教育会館
	14日 (水)	ヒアリング結果報告会	事務所
	22日 (木)	第3回事業運営会議	Web会議
	28日 (水)	神奈川県医療専門職連合会理事会	Web会議
29日 (木)	株式会社ビズリーチ職員採用会議	Web会議	
10月	6日 (木)	第6回常任理事会	Web会議
	9日 (日)	日本理学療法士協会組織運営協議会	Web会議
	11日 (火)	参議院選挙振り返り	Web会議
	22日 (土)	第4回拡大事業運営会議	Web会議
	25日 (火)	株式会社ビズリーチ採用面接会議	Web会議
11月	3日 (木)	株式会社リクルート採用システム操作説明会	Web会議
	10日 (木)	第7回常任理事会	Web会議
	13日 (日)	ハローよこはま	象の鼻パーク
	14日 (月)	事務職員採用面接	Web会議
	15日 (火)	近藤事務長との面談	事務所
	17日 (木)	事務職員採用面接	事務所
	18日 (金)	神奈川県栄養士会法人設立50周年記念式典	Web会議
		事務職員採用面接	事務所
	20日 (日)	事務職員採用面接	事務所
	21日 (月)	リハビリテーションを考える議員連盟第6回総会	キャピトルホテル東京
22日 (火)	事務職員採用面接	Web会議	
24日 (木)	第4回理事会	Web会議	

**会長  
行動報告**  
9月～11月



**小田原地域の住民生活を支えるARSグループ**

通所介護・就労後等デイサービス <b>Well</b> 小田原市久野469	通所介護 <b>ふらっと</b> 小田原市堀之内258-1	通所介護・小規模多機能 <b>ふらっと湯河原</b> 足柄下郡湯河原町土井1-13-3
訪問看護 <b>ARS訪問看護ステーション</b> 小田原市堀之内258-1	旧寄中学校利活用 <b>なないろポケット</b> 足柄上郡松田町寄2549	

職員募集中！お気軽にお問い合わせください

本社  
 〒250-0853 神奈川県小田原市堀之内258-1-102  
 TEL：0465-39-3730 (月～金 / 8:30～17:30)  
 MAIL：ars.head-2531@bz03.plala.or.jp

<https://ashigara-reha.jp/>

ARS

「なりたい自分になる」をサポートします

有限会社足柄リハビリテーションサービス

## information



### 日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

\*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

\*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行ってください。

#### 【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了してください。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可してください。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

### 年会費（納入方法）

年会費の納入方法は「クレジットカード決済」または「口座振替」となります。

- \*ご入会時にいずれかの登録手続きをしていただけます。
- \*日本理学療法士協会マイページから随時変更可能です。
- \*いずれかの方法で決済ができない場合は、振込用紙を送付させていただきます。（納入手数料がかかります）

#### ☆クレジットカード決済方法の変更

2022年4月19日より、楽天カード以外のクレジットカードもご利用できるようになりました。

ご利用可能なブランドは次のとおりです。

「VISA」「mastercard」「JCB」「AMERICAN EXPRESS」「Diners Club」

\*決済手数料はかかりません。

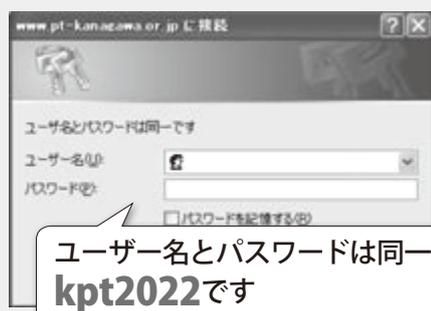
\*楽天カード、クレディセゾン、三井住友カード、ライフカード、イオン、セディナ、三菱UFJニコスカードについては、毎月自動で最新のカード情報に更新しますので、有効期限更新等による変更手続きは不要となります。

\*楽天カードは日本理学療法士協会マイページからも新規申込が出来ます。

\*口座振替ご希望の方はお持ちの金融機関口座から引落出来ます。ご登録いただいてから引落決済が利用できるまでに1か月程度かかる場合があります。

(公社) 神奈川県理学療法士会  
事務局

### アクセス認証のパスワード



本会ホームページの会員ページの（※アクセス）認証ありと表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理係

・ニュース編集係員・

担当理事：宮澤俊介（M's PT Conditioning）  
係長：武田正一（横浜リハビリテーション専門学校）  
委員：上垣亮太（横浜リハビリテーション専門学校）  
岩佐彩子（湘南鎌倉総合病院）

次号の原稿締め切りは**2023年3月1日**です。  
岩崎学園 横浜リハビリテーション専門学校 理学療法学科（ニュース編集係宛）  
**news-hensyu@pt-kanagawa.or.jp**  
〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。  
円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくをお願いいたします。

## 編集後記

新型コロナウイルス感染症のパンデミックから4年目に入る2023年、皆様はどのように過ごされますか。新型コロナウイルスが流行した当初、学会や研修会などは中止が相次ぎ、他病院や施設との連携や地域事業に影響があったかと思えます。現在はWebを使用した新しいスタイルでの開催が増え、画面を通じてのコミュニケーションを図ることが多くなりました。Webを通してどこでも参加でき便利な反面、地域の高齢者などはWeb操作に慣れず、スマホの使い方などを質問される場面が増え、また直接的な交流が減っているような気がするの私だけでしょうか。

今回、巻頭言で神奈川大学の森先生にご執筆して頂いた内容の中に、高齢者を対象としたスマホ教室の支援、清掃や催しの運営、実施協力と言った活動をされているとありました。若者と高齢者との交流を図り、少子高齢化の問題を多様な視点から問題解決へと取り組まれているとあり、改めて人と人の繋がり大切さを感じました。まだ記憶に新しい2022年FIFAワールドカップカタール大会では、現地の日本人サポーターがスタジアムの清掃をし、世界中から注目を集めました。言葉が通じない他国の方々と清掃という行動を通して繋がり、現地スタッフと日本のサポーター間には交流が生まれたそうです。

この「竹山団地プロジェクト」や「FIFAワールドカップカタール大会」のように、理学療法士も、より人と人の繋がりを大切にし、健康予防・増進といった地域参加、自治体との関わりをより図っていく必要があると感じました。新型コロナウイルスはまだ続いていますが感染対策に留意しつつ、今後も人と人の繋がりを大切に、日々臨床に精進していきたいと思えます。今後ともよろしくお願い致します。

(岩佐)

 神奈川県理学療法士会

神奈川県理学療法士会の  
公式アカウントができました。

研修会やイベントなどの情報を  
LINEでお届けします！

@720prcny

LINEの「友だち追加」から、ID検索するか  
QRコードをスキャンしてください

